

2024/6/26 (水)
インターネット世界旅行

ニューカレドニア



フランス共和国の一部であり、特別自治権を持つ海外領土です。約27万人の人口があり、カナック人（先住民族）、欧州系フランス人、その他の太平洋諸島系民族などが暮らしています。文化的には、カナック文化が特筆され、豊かな先住民の芸術や伝統が息づいています。主要な産業はニッケル鉱業で、世界のニッケルの生産の中心地の一つです。観光業も重要な役割を果たしています。自然の美しさと文化の多様性を兼ね備えた魅力的な地域です。

吉岡 芳夫



Great South

ヌーメア

ル・ド・パン

NOUVELLE-CALÉDONIE

New Caledonia



Commune **Boulognais**
Village
 Tribu / Village
 Site touristique
 Route principale
 Route secondaire
 Route à sens unique
 Plage
 Lac / Étang
 GBR/NCI Sentier de grande randonnée
 Point d'observation touristique
 Randonnée pédestre - Centre équestre - VTT
 Saut à l'élastique - Water sports activités - Aqua
 Golf - Centre de plongée - Club golf
 Musée - Centre culturel - Musée - Club sportif
 Hôte/Gîte/Accueil en tribu - Camping
 Plage - Aire de pique-nique - Point de vue - Cascade
 Black - Pêche avec - Localité - Village
 Aériennes - Port - Station service
 Météo à l'échelle - Plage
 Light tower
 Lignes classées au patrimoine mondial de l'UNESCO
 Ibis et autres lignes de la planète
 et du Nouvel-Calédonien

10 km

| Grande Terre | | Ouvéa - Iles | | Lifou - Drehu | | Mare - Nengone | |
|--------------|-----|--------------|-----|---------------|-----|----------------|-----|
| Bourail | 100 | Ouvéa | 100 | Lifou | 100 | Mare | 100 |
| Canala | 100 | Lifou | 100 | Drehu | 100 | Nengone | 100 |
| Le Bourail | 100 | Yaté | 100 | Yaté | 100 | Kunié | 100 |
| Le Dumbéa | 100 | Yaté | 100 | Yaté | 100 | Kunié | 100 |
| Le Dumbéa | 100 | Yaté | 100 | Yaté | 100 | Kunié | 100 |
| Le Dumbéa | 100 | Yaté | 100 | Yaté | 100 | Kunié | 100 |
| Le Dumbéa | 100 | Yaté | 100 | Yaté | 100 | Kunié | 100 |
| Le Dumbéa | 100 | Yaté | 100 | Yaté | 100 | Kunié | 100 |

Nouméa / Iles
 temps de vol - flight duration
 - Ile des Pins : 30 mn
 - Mare, La Roche : 40 mn
 - Lifou, Maré : 40 mn
 - Ouvéa, Lifou : 40 mn
 - Tiga : 40 mn
 - Inter-Iles, Lifou/Ouvéa : 25 mn

Nouméa / Iles
 temps de vol - flight duration
 - Ile des Pins, Muto : 2h15
 - Mare, Tadine : 3h45
 - Lifou, We : 4h45



© 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025

[【ニューカレドニア】天国に一番近い島ってなぜ？理由と意味を解説 \(caledonia01.com\)](#)

ニューカレドニアは「天国に一番近い島」と呼ばれ、多くの日本人観光客が訪れます。

そう呼ばれる理由は、

『天国にいちばん近い島』というのは、

書籍ニューカレドニア旅行記（作者：森村桂さん）の名前です！
その後、原田知世さん主演で1984年に映画化され大ヒットしました。

映画の内容

亡き父から教わった「天国にいちばん近い島」を求めて、太平洋のニューカレドニア島へ旅立つ少女の物語です。海外旅行が一般的でなかった時代、お金も伝手もないまま島行きの切符を手にして現地にたどり着いた作者は、絶望的な現実と向き合いながら、持ち前の明るさで良縁に出会い、島の生活が次第に彩り豊かになっていく様子を描いています。

ニューカレドニアの歴史

- 1774年、ジェームズ・クックによって発見され、1853年にフランス領となった。初めは流刑植民地であり、19世紀後半にはニッケルの発見が鉱業の発展を促し、労働者の移民が増加した。
- 20世紀後半には独立運動が盛んになり、1998年のヌーメア協定で自治と将来の独立に関する枠組みが確立された。
- 先住民族は数万年前から存在し、ラピタ人の到来で文化が発展した。オーストロネシア語族のポリネシア人も11世紀に移住し、先住民との混血が進んだ。
- 現在のニューカレドニアには27のメラネシア系言語とポリネシア系言語が存在し、クランを基にした共同体社会が形成されている。
- ヨーロッパ人の到来後は、捕鯨業や白檀貿易が盛んになり、先住民との緊張が高まった。特に疫病が流行し、人口が減少した。
- 1853年にフランスが領有を宣言し、流刑地としての役割が終わりを迎えた。
- 20世紀初頭にはアジア人契約労働者が多く移住し、ニッケル鉱山の労働力として重要な役割を果たした。
- 第二次世界大戦ではアメリカの拠点として戦略的な価値が高まり、戦後は自治と独立運動が進展した。1988年のマティニョン合意以降、自治の拡大が進められ、2018年と2020年に行われた住民投票で独立は否決された。現在も独立問題は進行中であり、2021年には独立支持派政権が誕生するなど政治情勢が変化している。
- 2024年にはフランス系住民の参政権拡大に関する憲法改正が議論され、暴動が発生したことで非常事態が宣言された。このようにニューカレドニアは歴史的にも政治的にも複雑な過程を経て現在に至っている。

気候

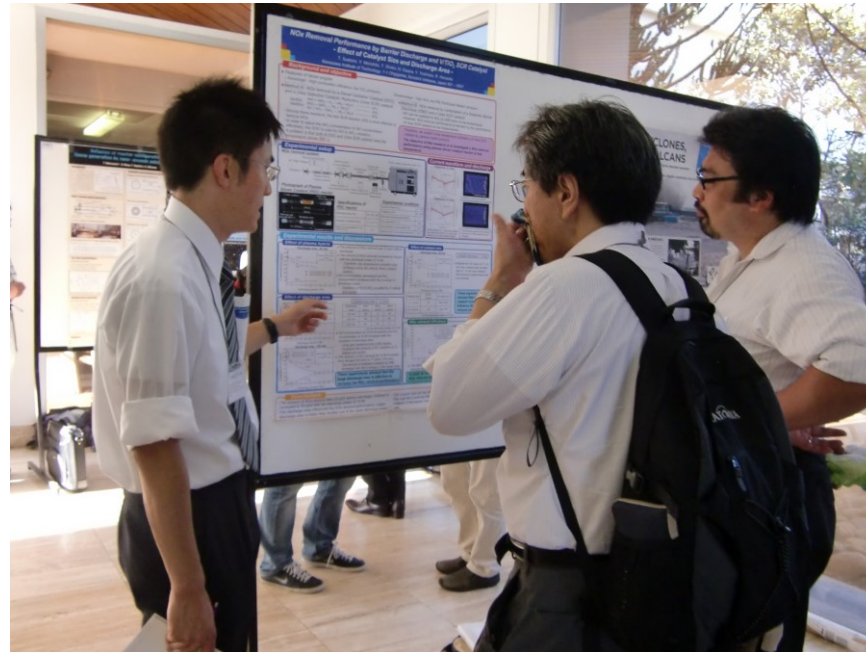
- ニューカレドニアは南回帰線にまたがり、熱帯気候に属します。季節によって降水量が異なり、5月から11月は比較的乾燥して過ごしやすいです。
- 東からの貿易風が山脈に当たり、豊富な雨量をもたらし、熱帯雨林が形成されます。
- 年間降水量はロイヤルティ諸島で約1500ミリメートル、本島東部の低地で約2000ミリメートル、山岳部では2000 - 4000ミリメートルに達します。
- 本島の西側は山脈の影響で降水量が少なく、年間約1200ミリメートルです。

産業

- ニューカレドニアは1860年代にニッケルが発見されました。この地域はコバルト埋蔵量で世界第4位、ニッケル埋蔵量で世界第5位を誇り、世界第5位のニッケル生産地です。
- ニッケル鉱業はニューカレドニアのGDPの20%を占め、輸出の90%近くを支えています。
- また、ここは世界最大級のフェロニッケル生産地でもあります。
- 日本のニッケル鉱石の年間総輸入量の約400万トンのうち、約50%がニューカレドニアから供給されています。
- ニッケルは主にステンレス鋼や各種電子材料、蓄電池材料の原料として広く使用されています。

人口

- 人口は、2016年の調査では27万5355人。
- 政庁所在地で人口最大の都市はヌーメア（2014年の人口は9万9926人[2]）。









「天国に一番近い島」で苦労した新婚夫婦 今は笑顔で
「仲深まった」 (msn.com)



[【天国にいちばん近い島】ニューカレドニアの観光スポット13選！ | たび日和 \(tabi-biyori.jp\)](#)

この資料は、上記資料をベースにして、作っております。



ニューカレドニアの観光スポット①首都ヌメア

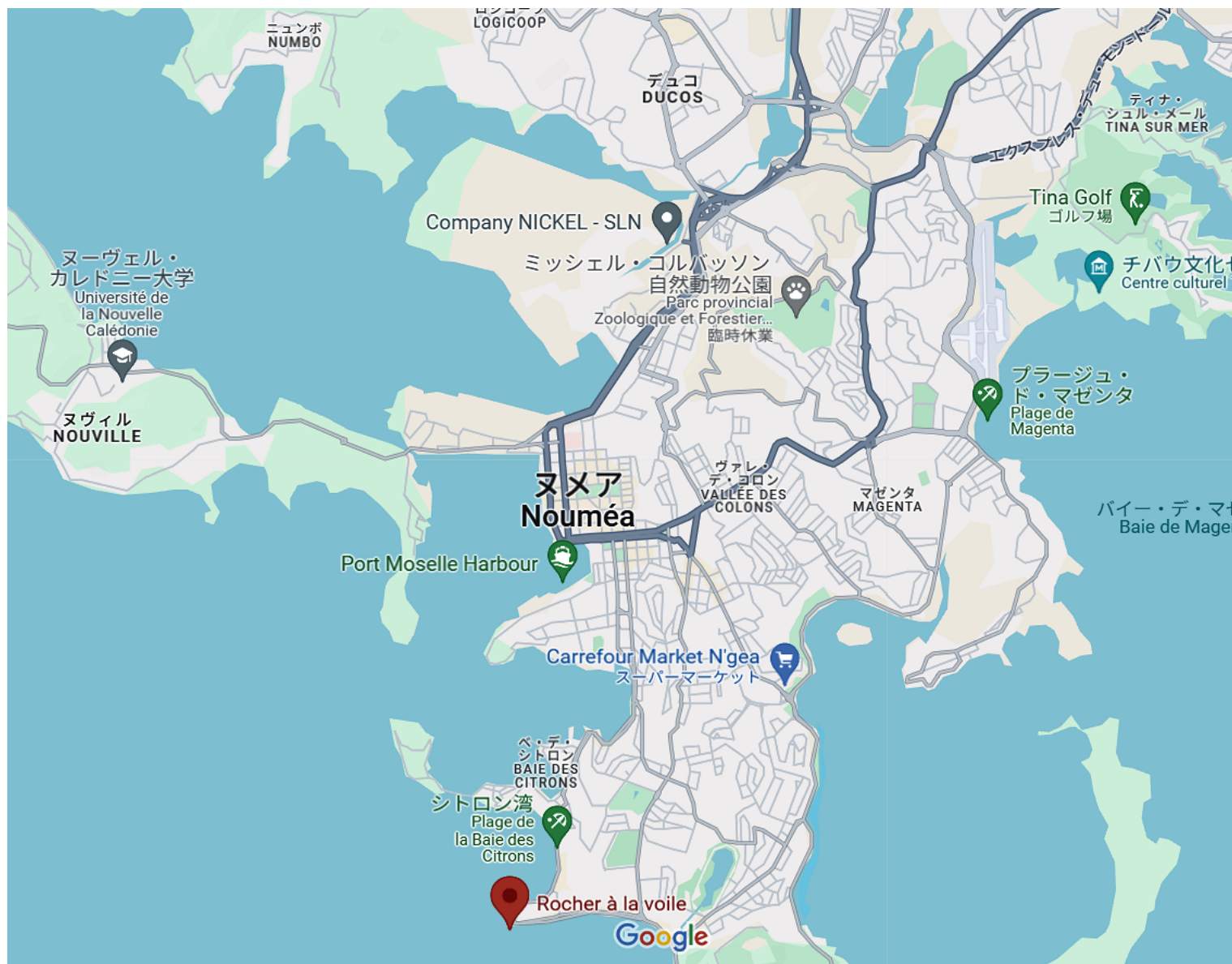


出典：photoAC

ニューカレドニアの首都ヌメアには、ココティエ広場や朝市など魅力的な観光スポットがあります。

ニューカレドニアのツアーは、主にヌメアを中心に計画が組まれているので、ぜひ行ってみてください。フランス文化が漂う美しい街並みや美しい海を見ながら、のんびり楽しみましょう。

Rocher à la voile - Google マップ



ココティエ広場



ココティエ広場は、ヌメアの市街地の中心部にある人気の名所です。

旅行者だけではなく、地元の人が集まっている憩いの場でもあるので、ふれ合える体験ができます。

広場の周りには、ショップやレストランなども充実しています。ホテルが集まるアンスバタ地区からココティエ広場までは、路線バスが走っているので便利です。

APO - Jeff - Google マップ



F.O.Lの丘



F.O.Lの丘はニューカレドニアの絶景スポットの一つで、1894年に完成したセントジョゼフ大聖堂の二つの塔と、多くのヨットが見えるモーゼル湾を一望できる名所です。南フランスの雰囲気十分に楽しめます。

ガイドブックやパンフレットなどに載っている美しい景色が、そのまま目の前に広がります。ココティエ広場から徒歩で行けるので街並みを楽しみながら歩きましょう。

セントジョゼフ大聖堂はヨーロッパを意識した作りで、窓にフランス製のステンドグラスがはめこまれていて、上からニッケルで作られたシャンデリアがつり下げられています。入口には巨大なシャコ貝で作られた聖水盤があります。

TEST.JPG00000 - Google マップ



ウアントロの丘



地元の方のハイキングコースです。シトロン湾やアンスバタ海岸を見渡せる絶景の名所です。ウアントロの丘には小ぶりの大砲台があります。大砲の向きを見ると日本との戦争の歴史が思い起こされます。アンバスダビーチから徒歩で1時間ほどかかります。

戦争時の小さな大砲

ウアントロの丘の大砲台は、第2次世界大戦時に日本軍の襲来を備えて設置されたものです。計算が間違っていたので、飛距離の足りない大砲に仕上がっています。実際に使われてはいませんが、戦争時代の歴史が感じられます。

ウーアン・トロ公園 - Google マップ



ヌメア朝市

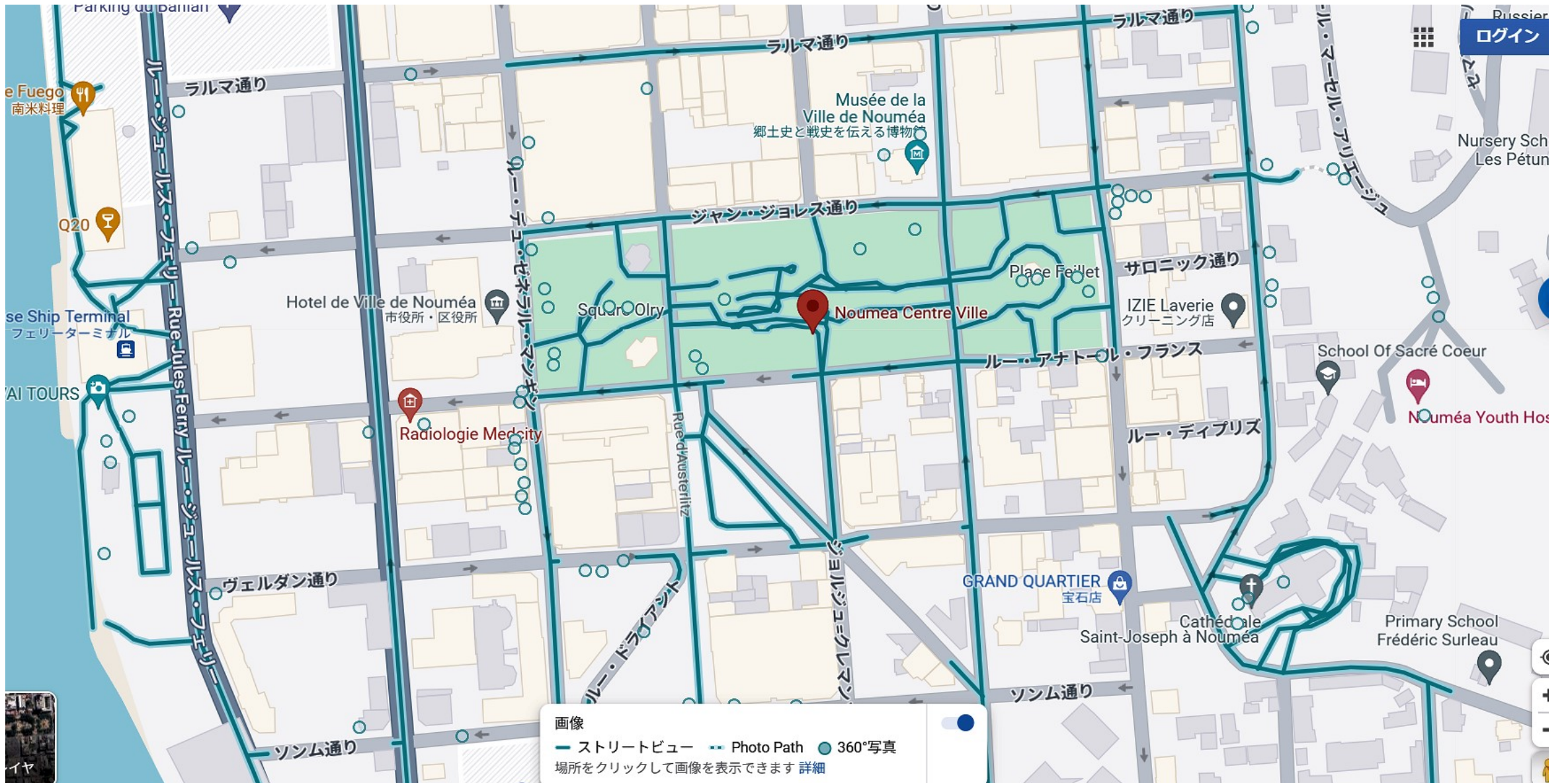


ヌメア朝市は、日本では見られない新鮮な野菜や果物、魚介類をはじめ、お惣菜やお土産なども購入できるニューカレドニアの名所です。地元の人も買い物に来るので、活気を楽しめます。ヌメア朝市は朝5時から営業を開始します。

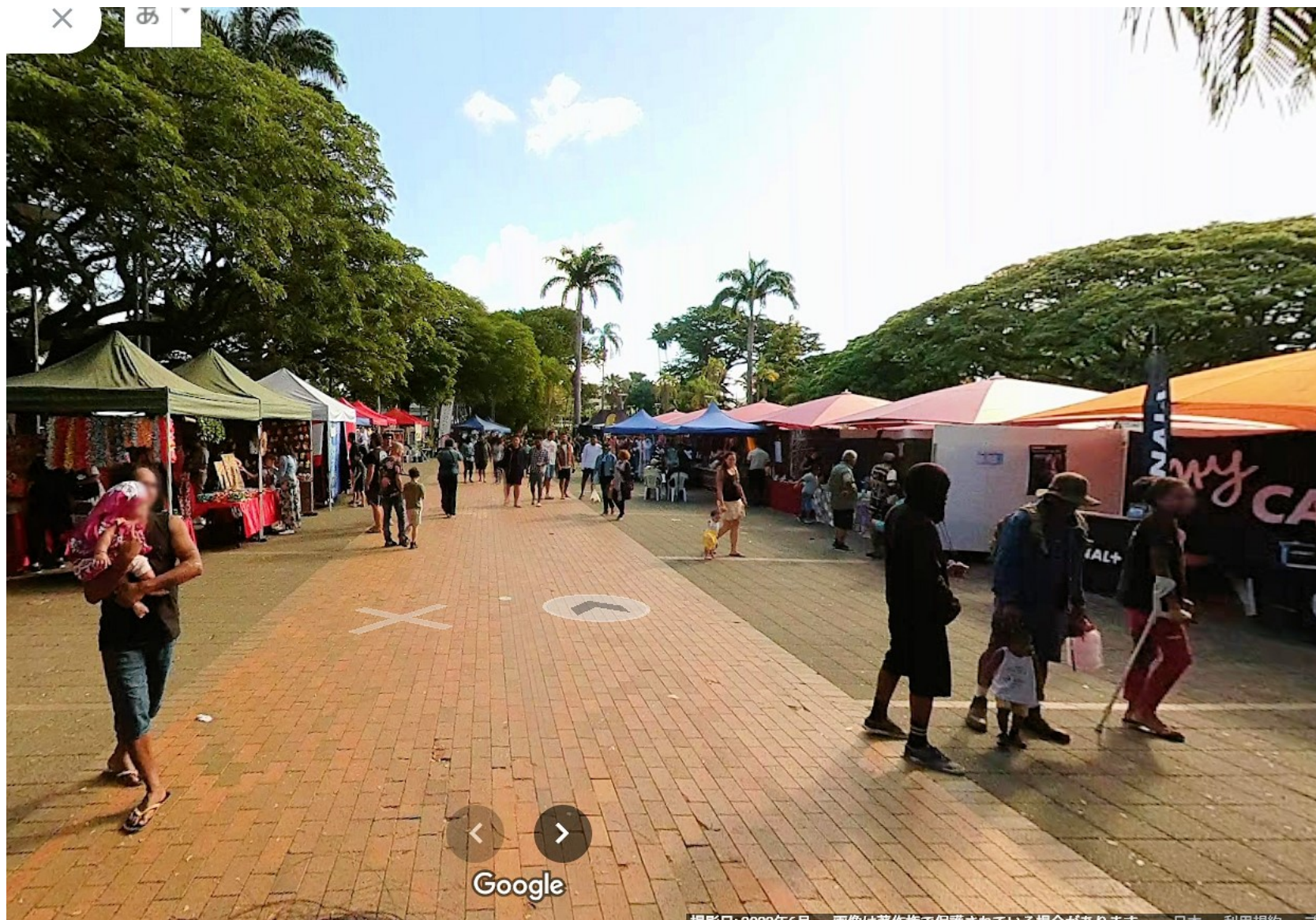
お土産に人気の手作りのせっけんやカップなどの雑貨も、10時頃から販売を開始するので行ってみてください。

おすすめの有名カフェ

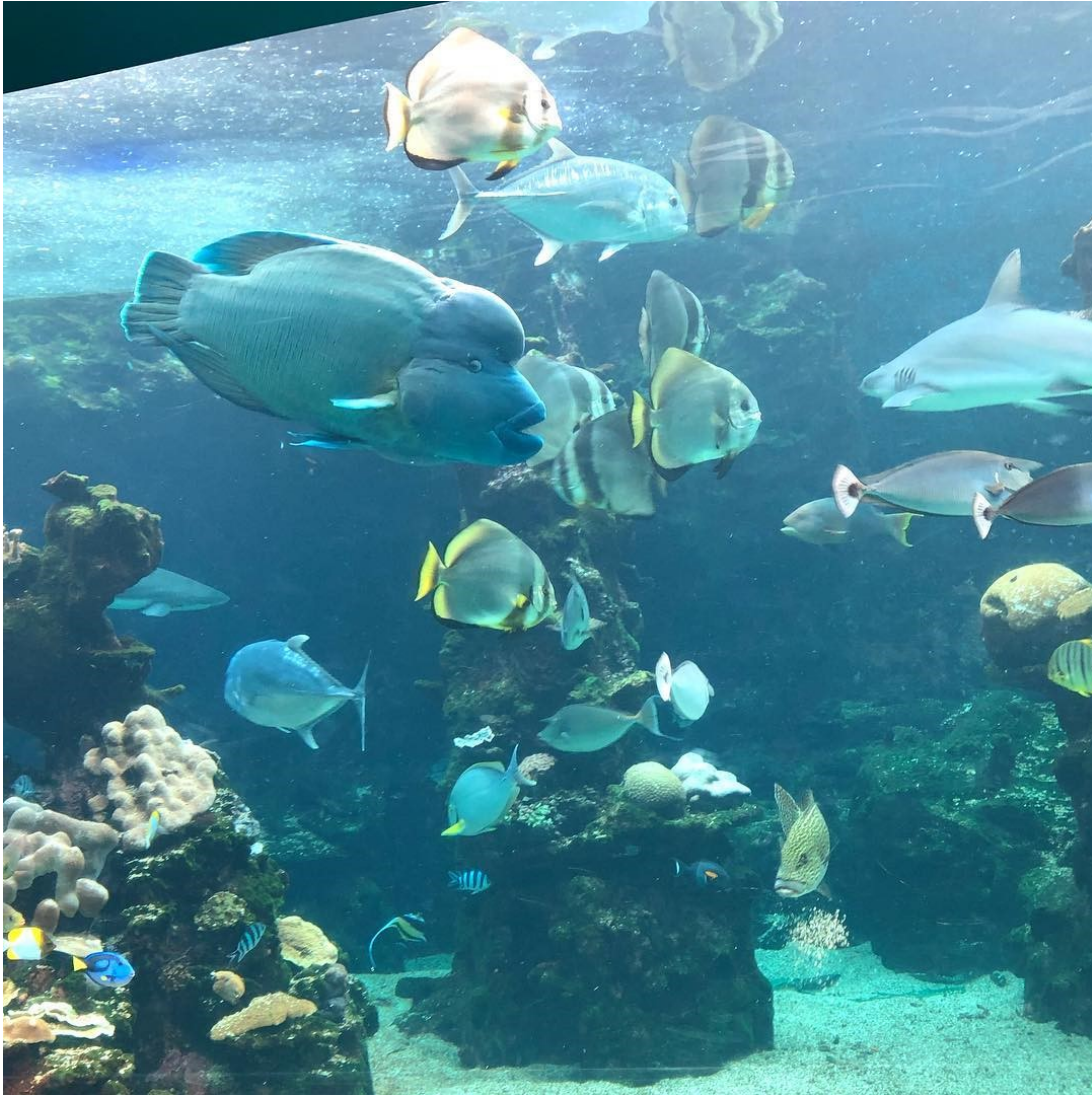
ヌメア朝市には、ガイドブックにも掲載されている有名なカフェがあります。クロックマダムやカフェオレなど朝食に人気のメニューが多くあります。カフェオレはサイズが大きいので、シェアして飲むのがおすすめです。



APO - Jeff - Google マップ



ニューカレドニア・ラグーン 水族館

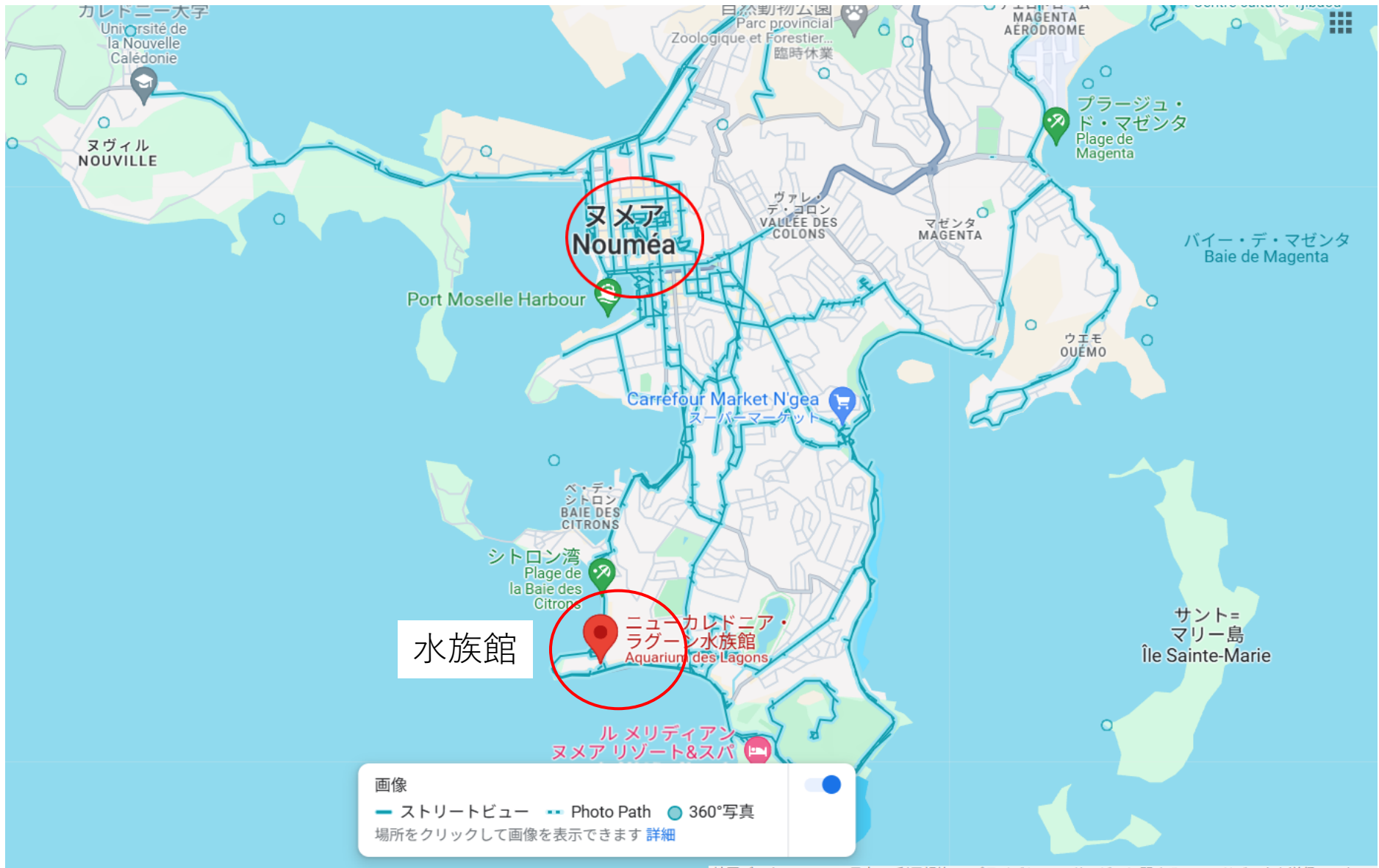


1956年に生物学者のカタラ博士によって創設された人気のラグーン水族館です。巨大水槽に、貴重な淡水魚や深海に生息するオオベソオウムガイなどが展示されている名所です。水槽には近くのラグーンの海水を使っています。

ラグーン水族館で人気の魚は、ユーモアのある顔が魅力のナポレオンフィッシュです。海とは変わらない悠々とした泳ぎが見られます。

宝石のようなサンゴの展示室

海外から注目を浴びている暗闇に光るサンゴの展示室があります。まるで宝石のようにきらびやかなサンゴは、訪れる人を魅了します。日本では見られないサンゴを楽しみましょう。



ヌメア
Nouméa

水族館

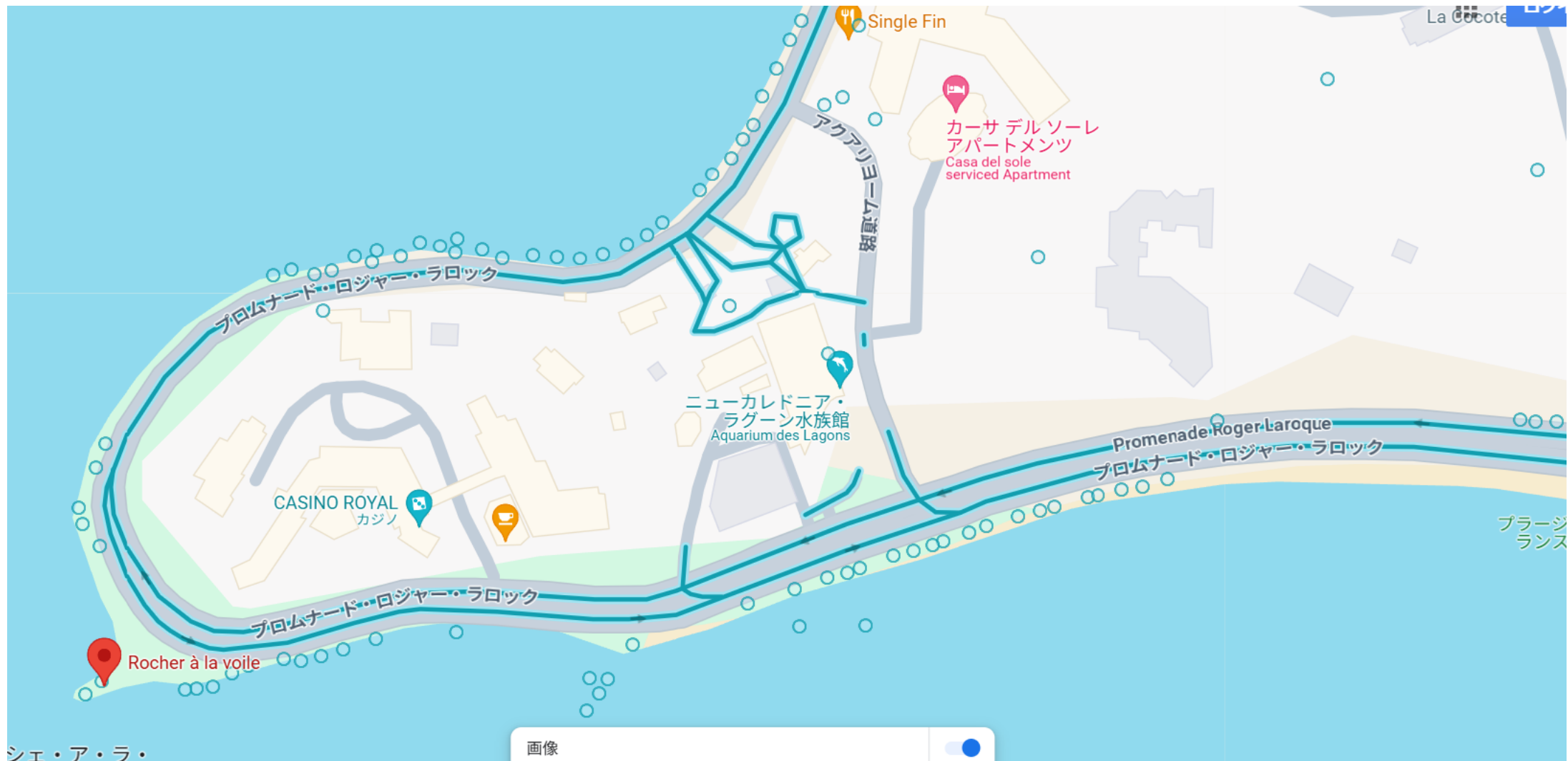
ヌメア水族館
Aquarium des Lagons

画像

— ストリートビュー - - Photo Path ● 360°写真

場所をクリックして画像を表示できます [詳細](#)

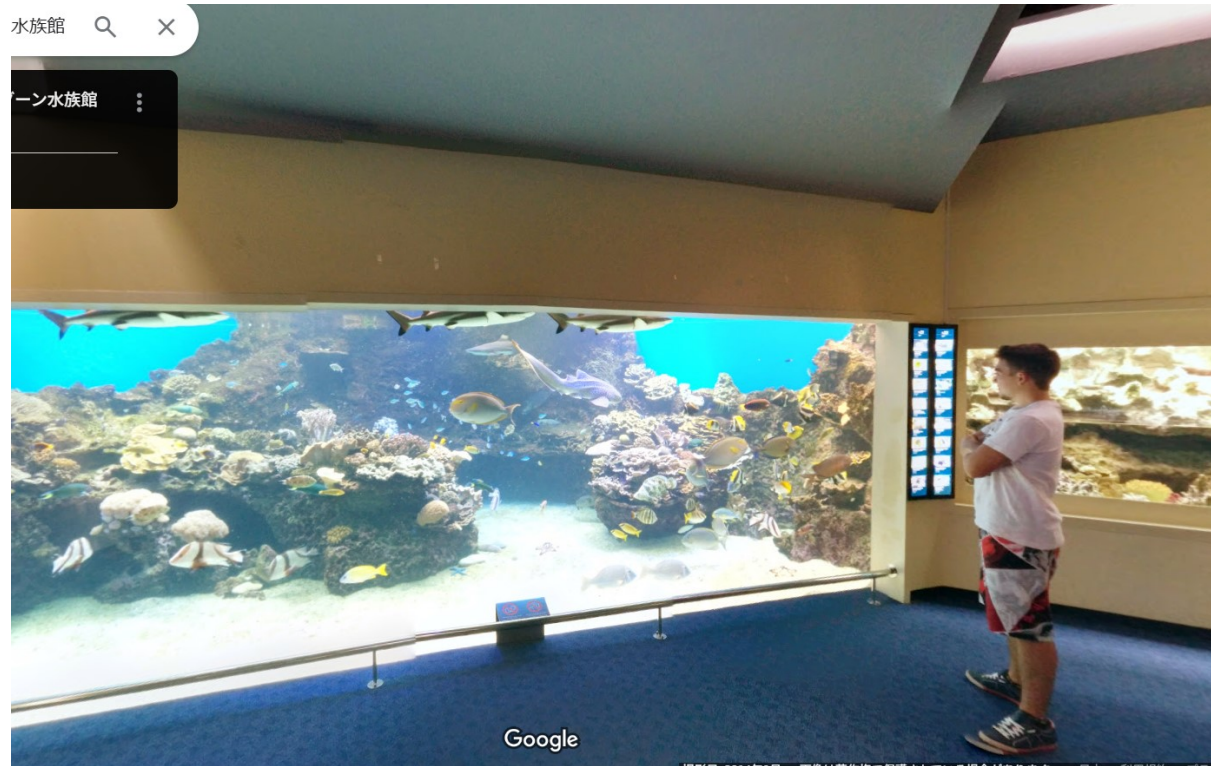
Rocher à la voile - Google マップ



ニューカレドニア・ラグーン水族館 - Google マップ



ニューカレドニア・ラグーン水族館 -
Google マップ



Crêperie Le Rocher - Google マップ



APO - Jeff - Google マップ

ドニア・ラグーン水族館 🔍 ✕

APO - Jeff

6月



Maxime Simoulin - Flying Pictures - Google マップ



ウベア島

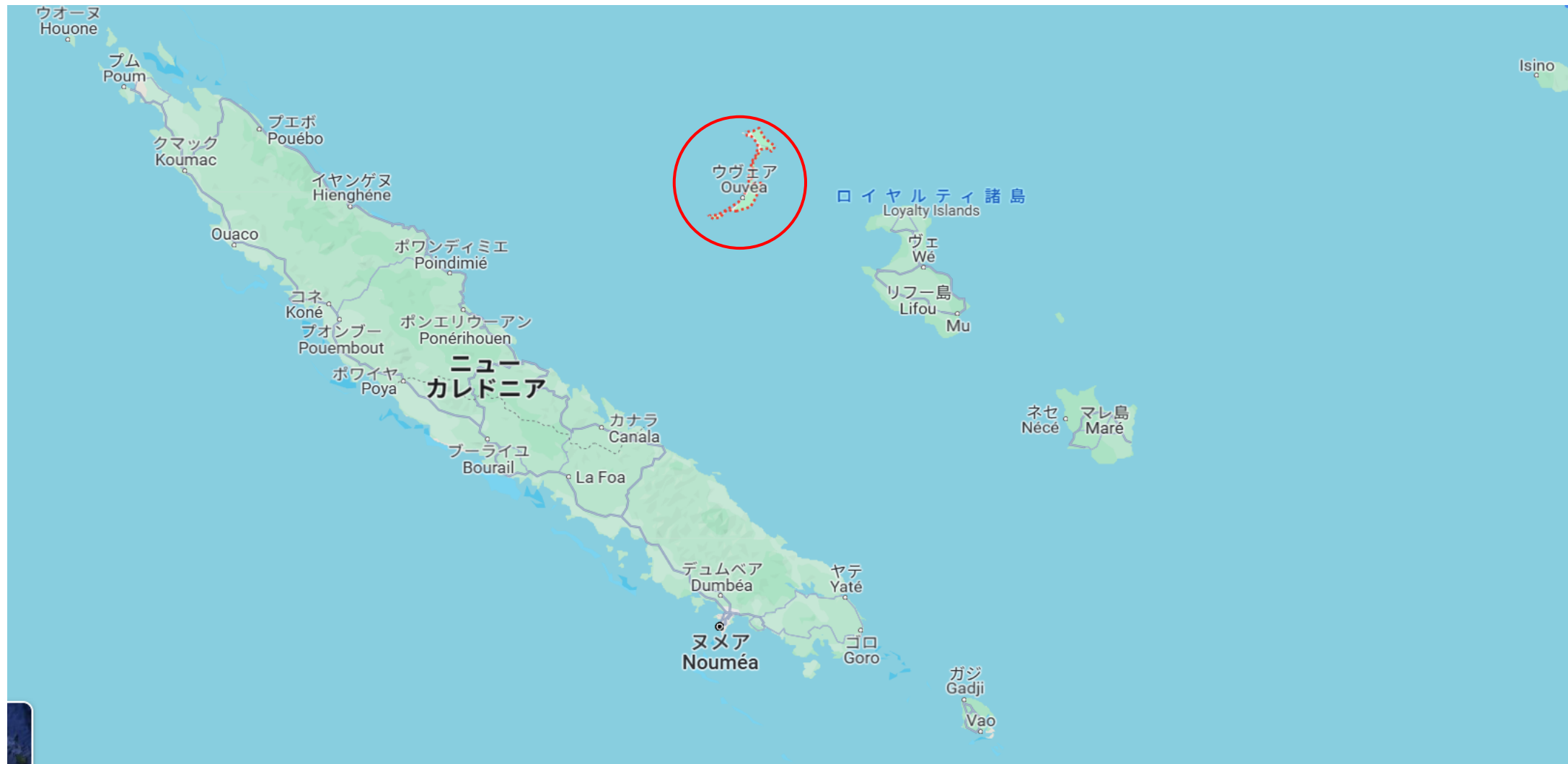


ウベア島は、ニューカレドニアのロイヤルティ島の一つで、ヌメアから国内線で約40分ほどで到着する観光地です。

美しい海の見えるムリ橋や神聖なレキンの絶壁などの観光スポットが満載です。

「天国に一番近い島」の舞台で、日本の女優が足を運んだことから名前がついた人気のビーチもあります。

ウヴェア - Google マップ



Il teterine II - Google マップ



Fayaoue Protestant Church - Google マップ



Il teterine II - Google マップ



Moorea Event - Google マップ

Moorea Event

22年2月





パラディ・ド・ウベア
Hôtel Paradis d'Ouvéa,
Nouvelle Calédonie

レキヌ
Lekine

ウヴェア
Ouvéa

ウヴェア
Ouvéa

オニャユ
OGNAHU

ムリ
MOULY

ムリ橋



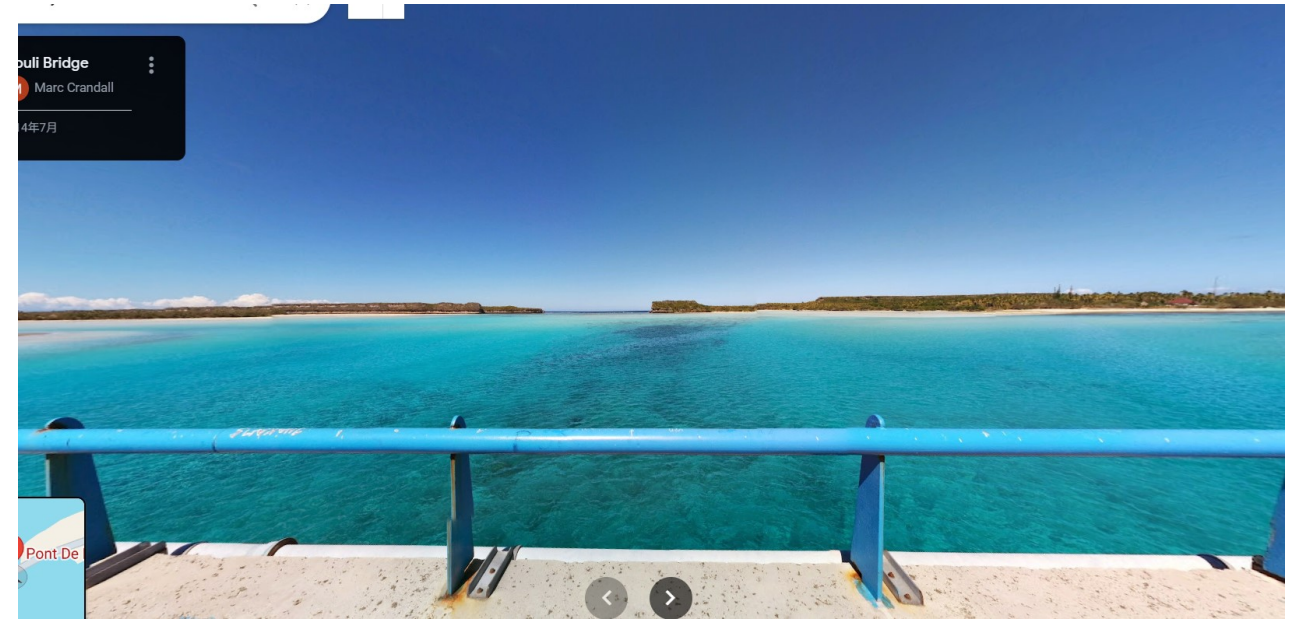
ムリ橋は、ウベア島とムリ島を結んでいます。ホテルパラサイドウベアからは徒歩で行きましょう。ムリ橋は、地元の主要道路として使われている。ムリ橋を渡った先では砂浜に降りられます。ムリ橋を下から見たり、一緒に写真を撮ったりと楽しめるスポットです。橋の下は水路で流れが速く、泳ぐのは大変危険です。

橋の上から見る絶景

ウベアの一番の名所と言われるほど、橋の上から見える景色は絶景です。濃い海と薄い海のコントラスト、白い砂浜に心が奪われます。橋の下を見ると泳いでいる魚が見えます。運が良ければカメやエイが泳いでいますよ。

ムリ橋

[Mouli Bridge - Google マップ](#)



[Mouli Bridge - Google マップ](#)

レキンの絶壁



レキンの絶壁は、サンゴ礁がもりあがった岩場で大きさに圧倒されます。周りの海は、ウベア島では一番美しいと言われていて、濃い緑色が印象的です。白い砂浜をずっと歩くと神秘的な光景から目が離せなくなります。

レキンの絶壁までは徒歩や自転車で行けませんが、ホテルからは距離が離れているので、ツアーに参加して案内してもらいましょう。絶壁の真下から絶壁と海が楽しめます。

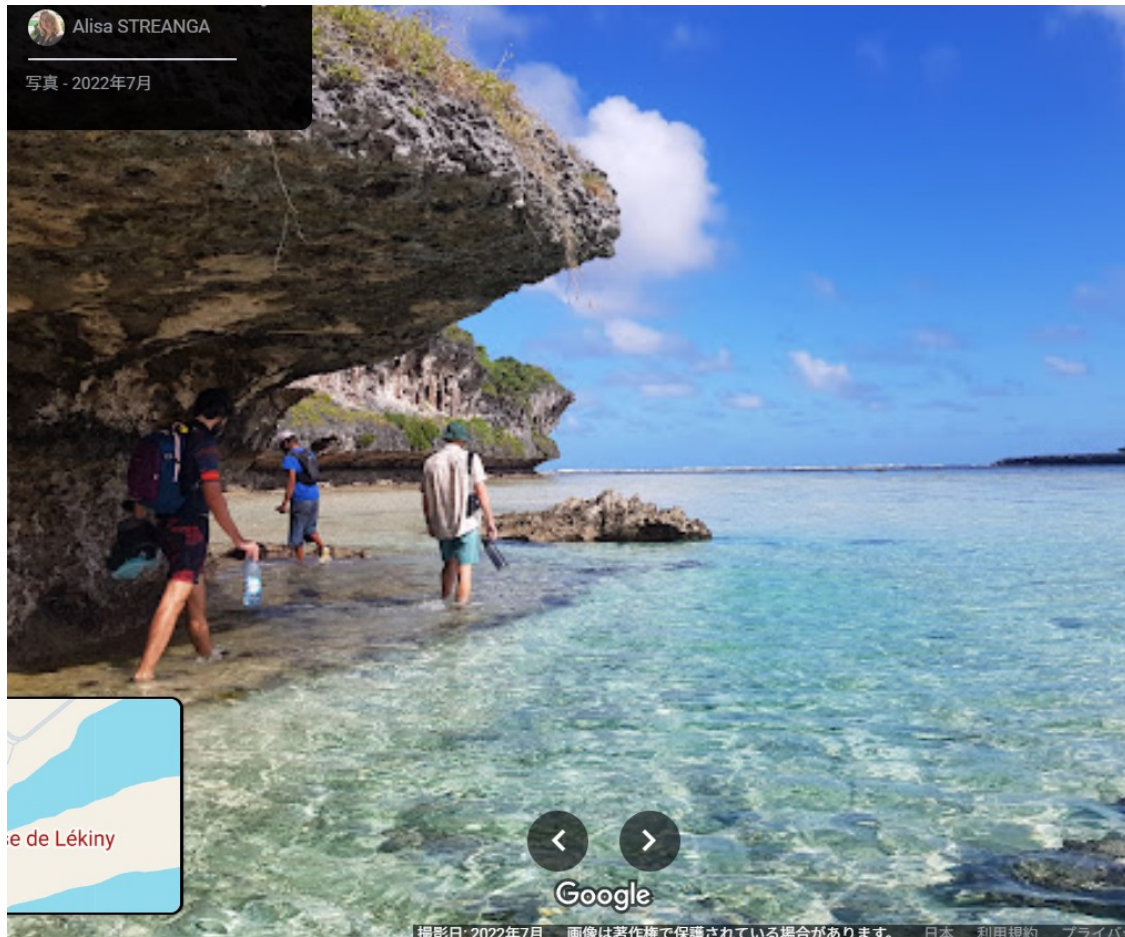
息をのむ神聖な美しさ

レキンの絶壁ですが地元では「聖地」とされているので、海や崖に立ち入ったり、泳いだりはできません。手前の砂浜でゆっくり景色を楽しんでください。波はムリ橋よりも穏やかで、透明度が高く、息をのむ美しさです。

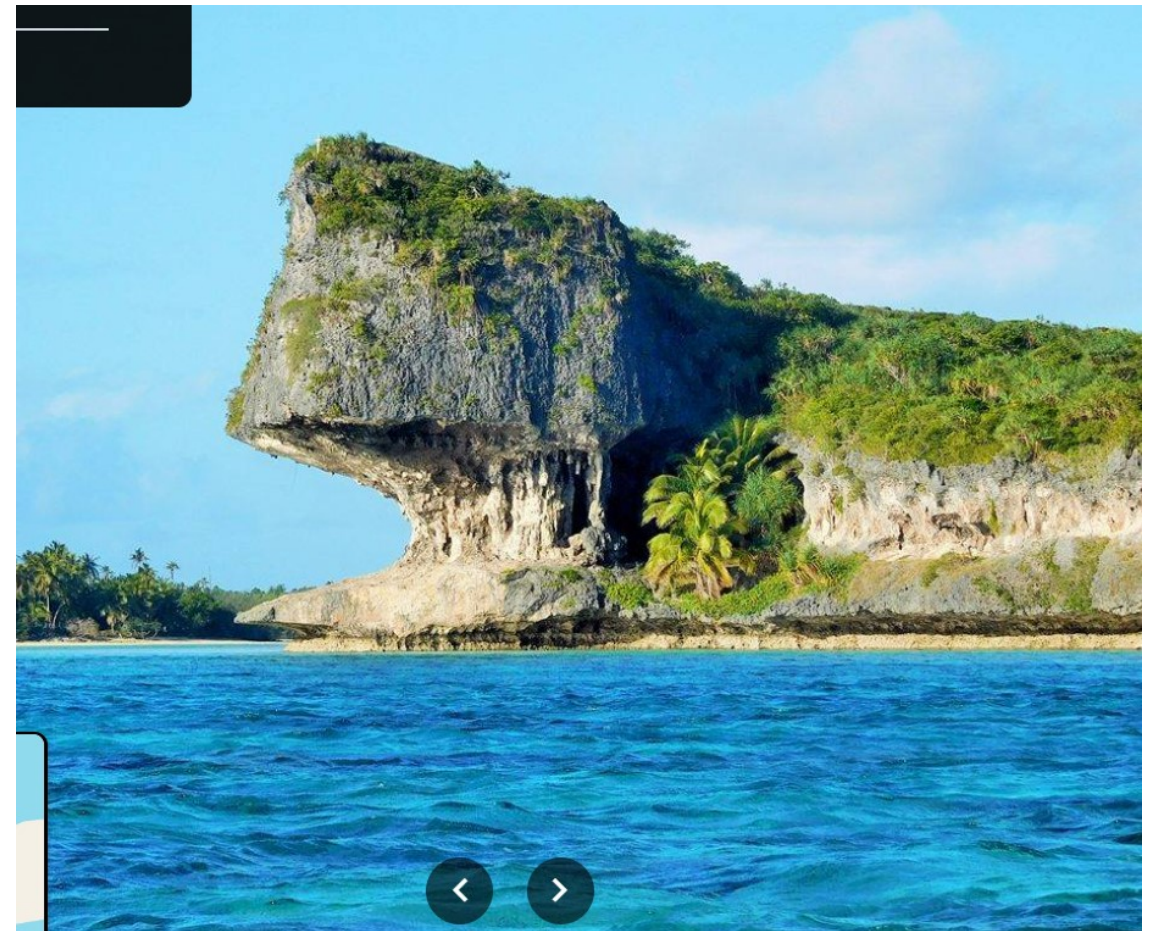
レキンの絶壁



Falaise de Lékiný - Google マップ



Falaise de Lékiný - Google マップ



アナワのブルーホール



小さな青い池のようなアナワのブルーホールですが、下を見ると底が見えない奥深く続いている巨大な穴です。水深が90mほどと言われ、透明度の高い水が満たされています。魚が下に泳いでいく貴重な姿を見られます。

アナワのブルーホールは、底の方で海とつながった不思議な洞窟です。淡水と海水が混じった青い洞窟

アナウのブルーホールは「青の洞窟」とも呼ばれています。淡水と海水が混じり合い、海とは違った自然な藍色を作り出しています。青の洞窟の奥には「亀の洞窟」があって、海とブルーホールを行き来する亀が見られます。

Hanawa Blue Hole - Google マップ



イル・デ・パン島



イル・デ・パン島は、ヌメアから東に100kmほどに位置し、国内線で約30分で到着します。サン・モーリス記念碑やオルタンス洞窟など、歴史が感じられる観光地です。

現地では「海の宝石箱」の意味のクニエと呼ばれています。海で泳いでいると多くの熱帯魚やサンゴを見られます。

[まさに天国！ニューカレドニア・イルデパン島3大ビーチの楽しみ方 | 旅Pocket \(tabikobo.com\)](#)

まさに天国！ニューカレドニア・イルデパン島 3大ビーチの楽しみ方

更新：2019/10/21 22,645views

目次

[イルデパン島の代名詞ピッシンヌ・ナチュレル](#)

[パウダーサンドと波の音に癒やされるクト・ビーチ](#)

[芝生から海へ飛び込めるカヌメラ・ビーチ](#)

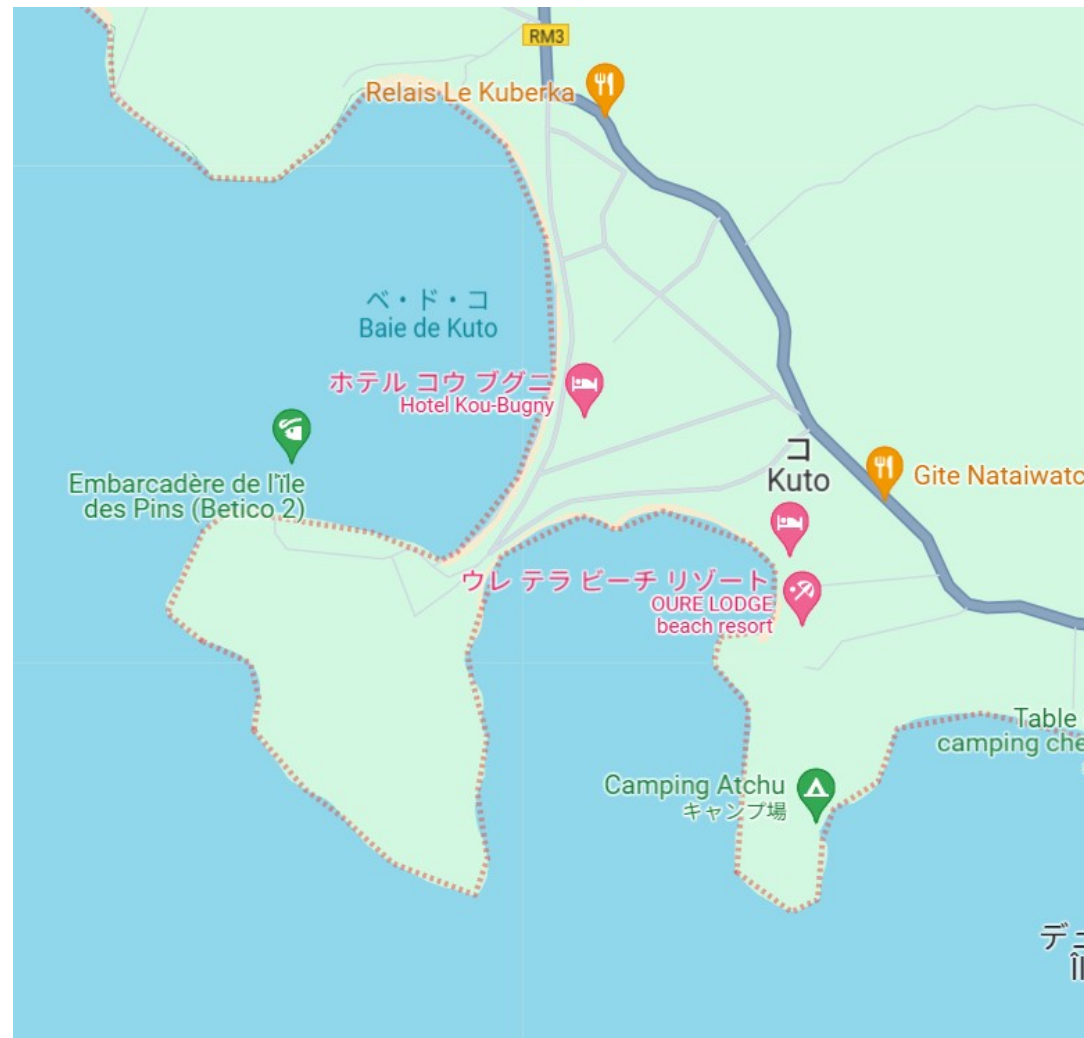
[3つのビーチをすべて楽しむためには？](#)

2017 New Caledonia Ile Des Pins イルデパン島
(youtube.com)



伝統的な帆船ピローグに乗ってピッシンヌ・ナ
チュレルに行くツアーもあります（現地予約要）。
気持ち良い潮風を感じながらヨット気分で乗れる
ので、滞在に余裕がある人は、ぜひ挑戦を！

ニューカレドニア - Google マップ



P - Google マップ



GillGang - Google マップ



2017 New Caledonia Ile Des Pins イルデパン島
([youtube.com](https://www.youtube.com))



2017 New Caledonia Ile Des Pins イルデパン島

サン・モーリス記念碑



サン・モーリス記念碑は、イル・デ・パン島の中心のパオ村にあります。カトリックの宣教師が初めて上陸した場所ということで建立されています。キリストの像が中心に建てられていて、周りを木彫りのオブジェが囲んでいます。

キリスト教と現地の文化が融合していて、歴史が深く感じられます。記念碑の周りには木彫りだけではなく、花などが置かれていて地元の方々から愛されています。

記念碑を守る木彫りのオブジェ

キリストの像の周りには、いろいろな形をした木彫りのオブジェが置かれています。イル・デ・パン島では、木彫りのオブジェは魔除けとして使われています。レストランや空港などにも置かれているので、いろいろな木彫りに会えます。

オルタンスの洞窟



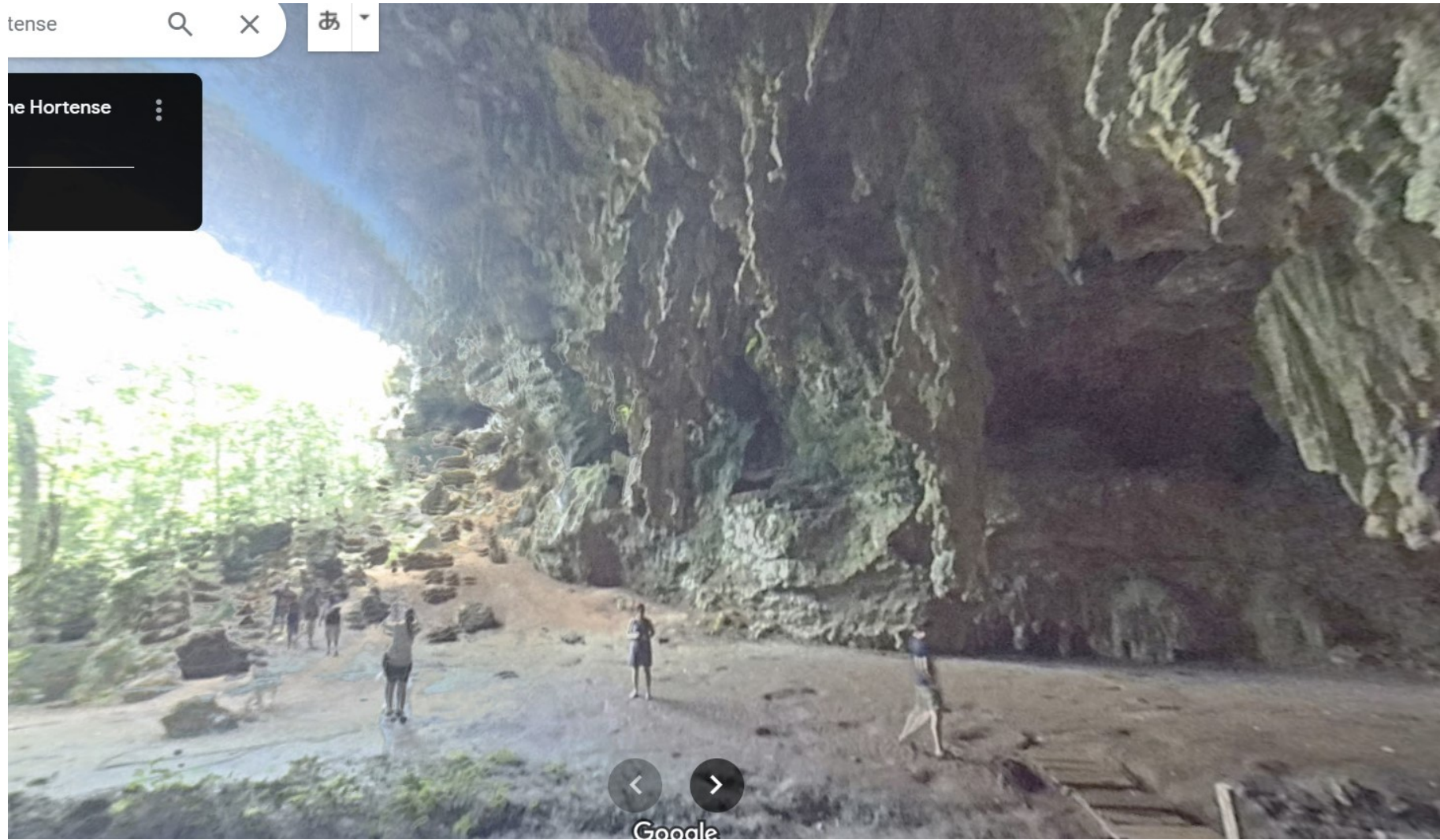
オルタンスの洞窟は、イル・デ・パンの民衆反乱を率いたオルタンス女王が追い詰められて身を隠したという観光地です。正式名称は「ウエムワニ洞窟」と言います。オルタンスの洞窟に入るには、入場料250XFPが必要です。

巨大なシダなどの植物が生えているジャングルを歩いていくと、鍾乳洞のようなオルタンス洞窟に着きます。日本語で書かれている看板もあるので確認してください。

ひんやりした神秘的な洞窟

洞窟に入っていくと昼間でも暗く、ひんやりしています。地上の穴から光が差し込んで、神秘的な美しさに魅了されます。女性が住んでいたという雰囲気のある場所ではありませんが、パワースポットとして人気があります

Grotte de la Reine Hortense - Google マップ



カメラビーチ

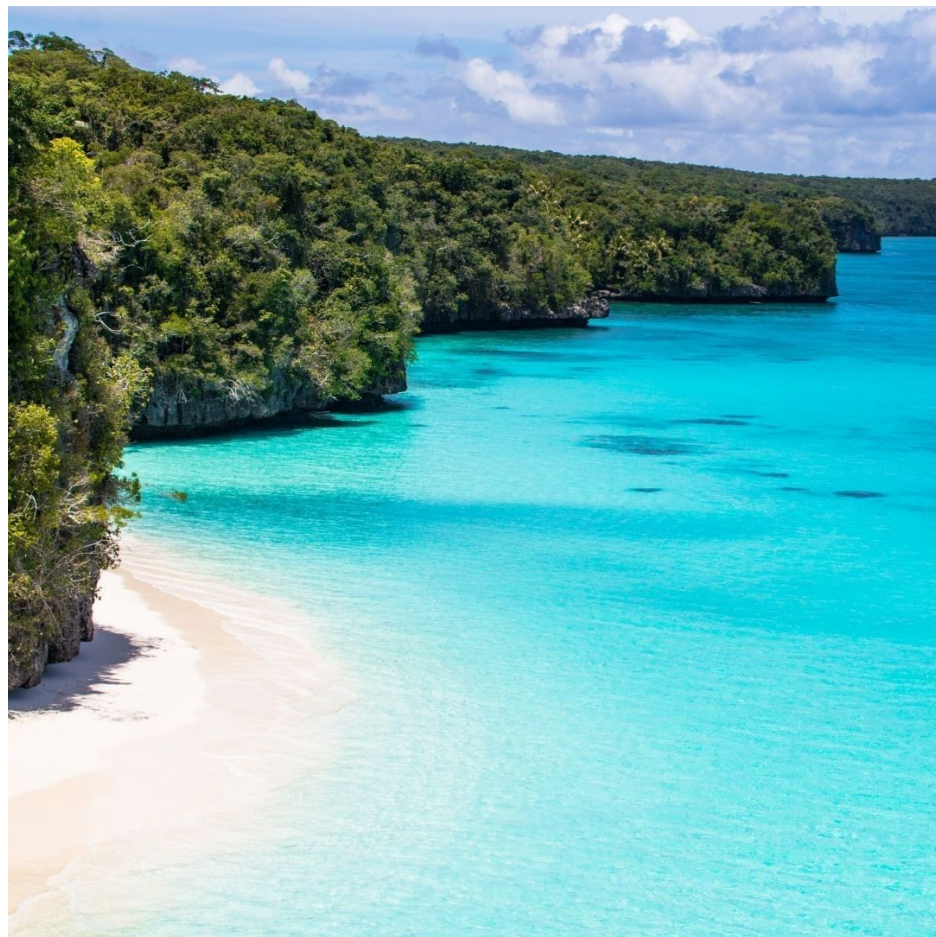


イル・デ・パン島のビーチの中でも、プライベート感が満載のカメラビーチです。太陽の光でキラキラ光るブルーの海や白いサラサラの砂浜のコントラストが美しいです。波が穏やかでのんびり過ごせます。カメラビーチの50mほどに大きな岩があり、泳いでいくと多くの熱帯魚が見られるのでおすすめです。カメラビーチは岩場が多いので、マリンシューズを持っていくと便利です。

シュノーケルやカヌーで遊ぶのんびりビーチ

カメラビーチは、他のビーチとは違って、バナナボートや水上スキーなどのモーター系のアクティビティはないので注意が必要です。波が穏やかな海が広がっているため、シュノーケルやカヌーでのんびり遊びましょう。

リフー島

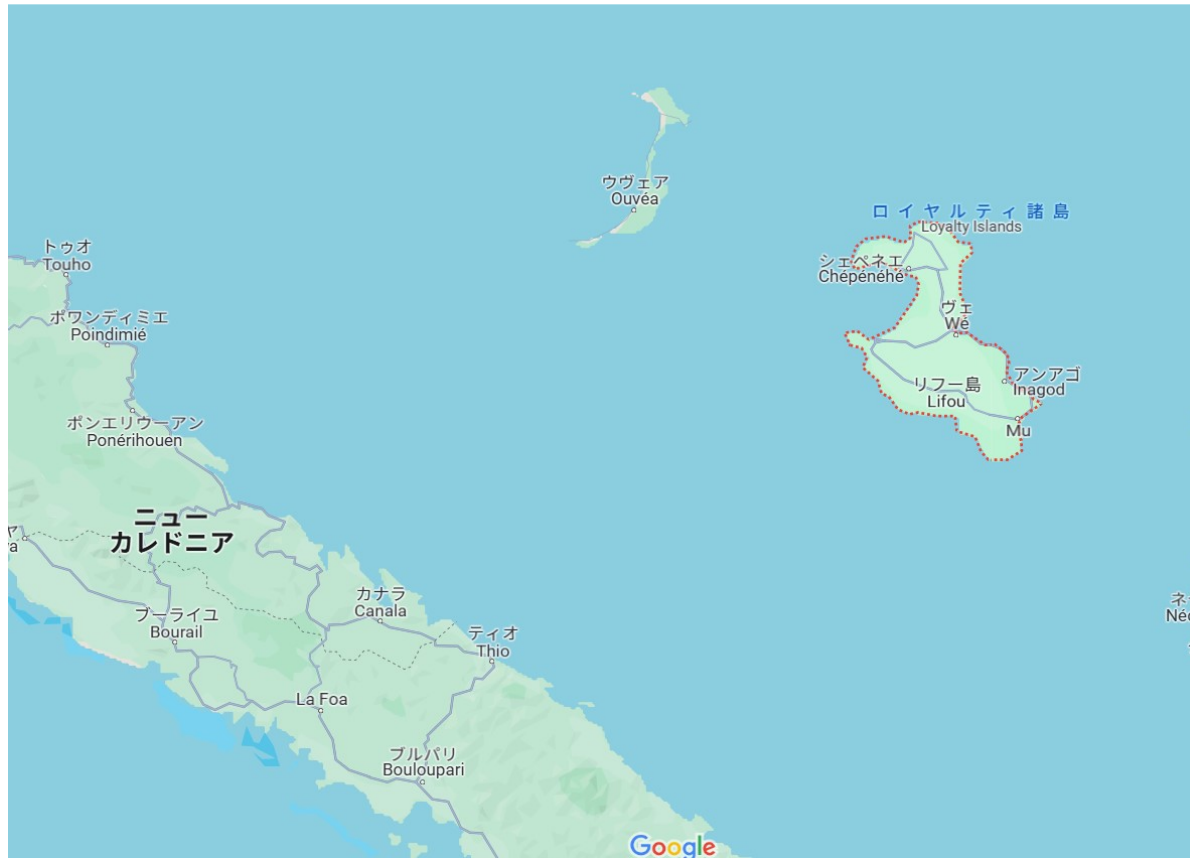


無数の島の中で最も大きいリフー島は、国内線で約45分ほどで到着します。他の島々と比べて観光客が少なく、自然がそのまま残されている観光地です。白い砂浜やコバルトブルーの海をはじめ、有名な絶壁などがあります。

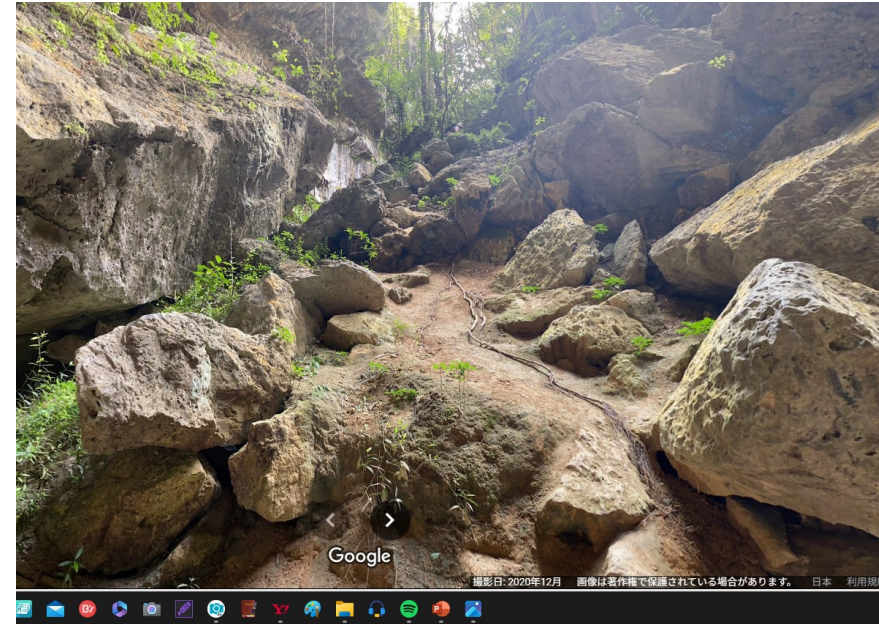
リフー島

[Nicolas CAZE - Google マップ](#)

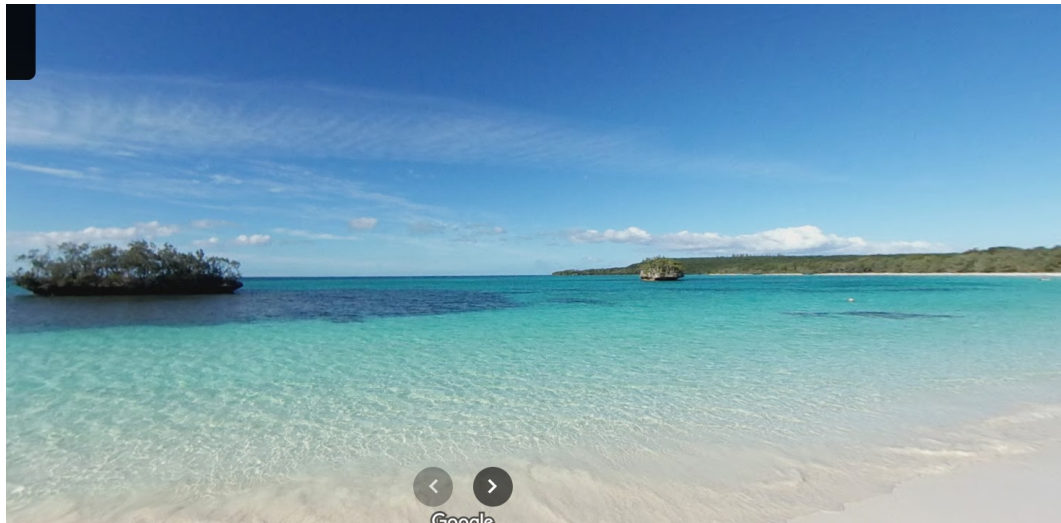
タンジュタン



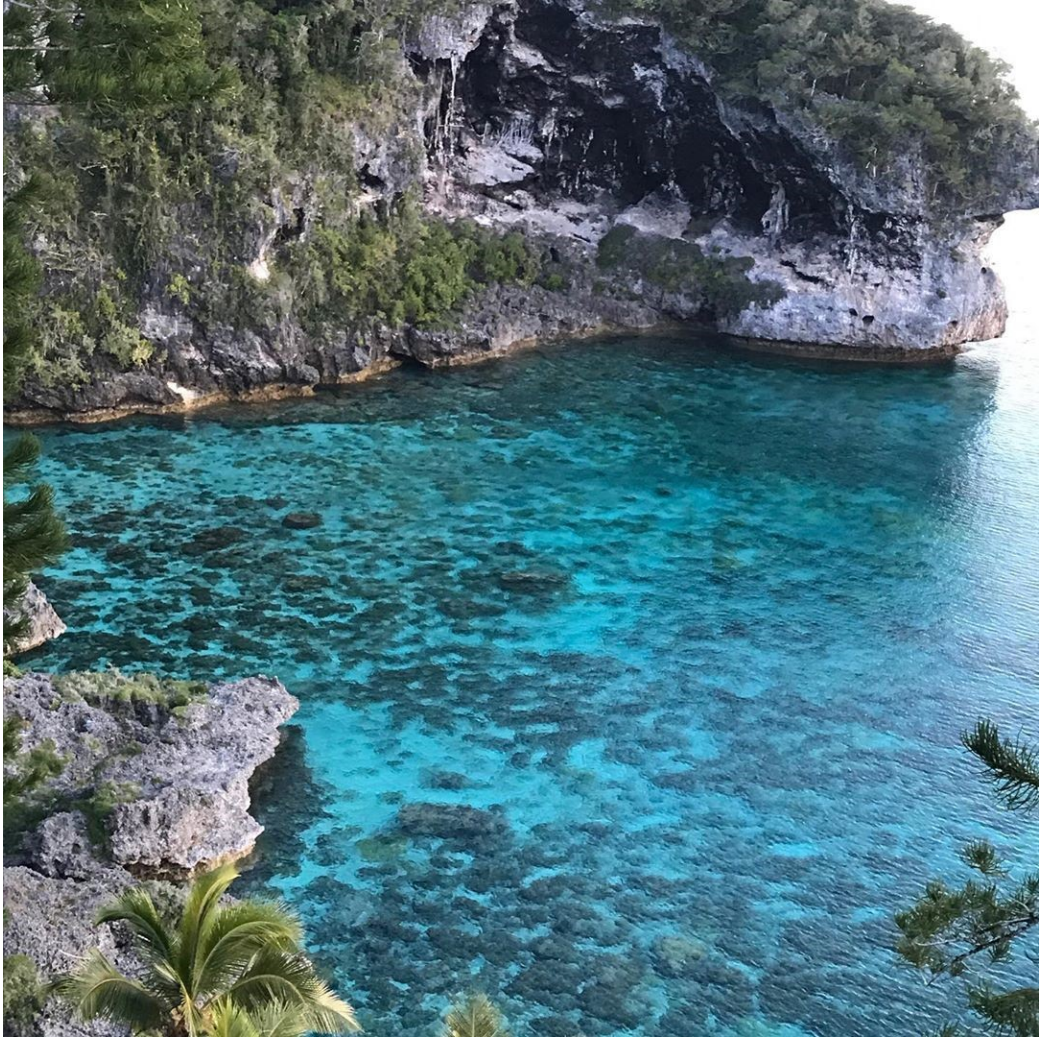
Nicolas CAZE - Google マップ



Tony Camargo Acosta - Google マップ



ドキンの絶壁



リフー島の最北端に位置するドキンの絶壁は、サンゴに刻まれ切り立った名所です。絶壁から見える太陽が沈む様子はすばらしく、サンセットスポットとしてもおすすめです。フランス文化とは違い、手つかずの自然を楽しめます。

ドキンの絶壁までは、ホテルのツアーがおすすめです。崖下を見下ろす場所は、落下防止の塀がないところもあるので、足を滑らさないように注意が必要です。

50m以上の断崖が眺める絶景ポイント リフー島は砂浜と崖に囲まれている島で、ドキンの絶壁は50m以上の高さがあります。崖の上から海を泳いでいる魚が見えるほど、海の透明度が高いです。真っすぐな水平線が見られ、地球の大きさがわかる絶景のポイントです。

Jokin Cliffs - Google マップ



ロンガニ・ビーチ



ニューカレドニアの島々の中で、一番美しい海と評判のロンガニビーチです。観光客が少ないので、プライベートビーチのように海を独り占めできます。波が穏やかでシュノーケリングにもおすすめのビーチです。

ロンガニビーチは、ウミガメの産卵地としても有名です。他の島よりも出現率が高く、運が良ければ、海の中を泳ぐウミガメや産卵している場面が見られる可能性があります。

さざなみが聞こえる静かなビーチ

ロンガニビーチは海だけではなく、砂浜もニューカレドニアで一番白くて美しいと評判です。砂浜に寝転んでみると、穏やかなさざなみの音が聞こえます。透明度の高い海と青い空、白い砂浜が体を癒やしてくれるのでおすすめです。

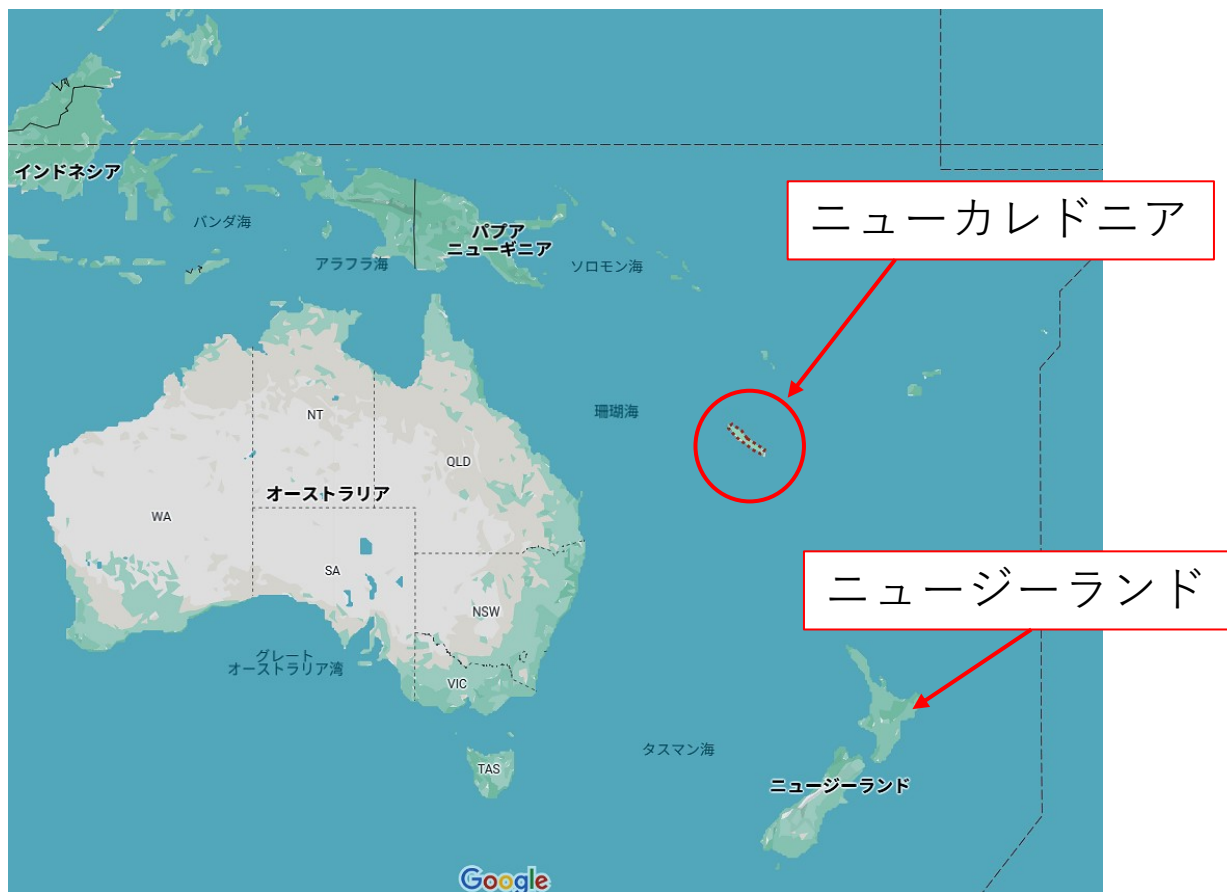
ルエンゴーニ湾 - Google マップ



2024/6/26 (水)
インターネット世界旅行

ニューカレドニア

本資料は、下記の記事を利用して作成しました。



[【天国にいちばん近い島】ニューカレドニアの観光スポット13選！\(3ページ目\) | たび日和 \(tabi-biyori.jp\)](#)

終わり

吉岡 芳夫